

1. 評価報告概要表

評価確定日 平成19年11月1日

【評価実施概要】

| | |
|---------------|----------------------------------|
| 事業所番号 | 2275300701 |
| 法人名 | 有限会社ケアサポート・豊田 |
| 事業所名 | グループホームすきっぷ藤枝 |
| 所在地 (電話番号) | 藤枝市稲川1-1-12 (電話) 054-647-5580 |

| | |
|-------|--------------|
| 評価機関名 | 静岡県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 静岡市葵区駿府町1-70 |
| 訪問調査日 | 平成19年6月26日 |

【情報提供票より】(19年6月8日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|--------|---------------------|
| 開設年月日 | 平成 18 年 2 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 人 | 常勤 | 2人, 非常勤 8人, 常勤換算 2人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|------|----|
| 建物形態 | 単独 | 新築 |
| 建物構造 | 平屋建て | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|----------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額) | 60,000 円 | その他の経費(月額) | 19,980 円 |
| 敷金 | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 保証金無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり1,200円 | | |

(4) 利用者の概要(6月8日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 2 名 | 女性 | 7 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 5 名 | | |
| 要介護3 | 1 名 | 要介護4 | 2 名 | | |
| 要介護5 | 名 | 要支援2 | 名 | | |
| 年齢 | 平均 86.8 歳 | 最低 | 82 歳 | 最高 | 92 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------|
| 協力医療機関名 | 青島クリニック はせがわ歯科 |
|---------|----------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成18年2月に開設されたホームで、市街地にありながら緑も多い閑静な住宅街に位置している。開設後2年目であり、地域に根付くホームづくりの取り組みとしては、ようやく地域住民とのふれあいが始まったところで、今後期待される場所である。運営者や管理者、職員は一丸となって利用者の充実した生活が継続できるように利用者本位のサービス提供を行うように取り組んでいる。現在の取り組みを振り返り、常に課題をもち、更なるサービス向上に向けて意欲をもって様々な事柄を検討している。職員や利用者もホームでの生活や勤務に慣れたことも有り、今後の更なる取り組みに期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>平成18年2月開設であり、今回がはじめての取り組みである。外部評価の意義を十分に認識して取り組んだ。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全ての職員で自己評価に取り組んだ。ホーム自身の反省にもあるように、全ての職員が項目やその趣旨を十分に理解したうえでの取り組みにまでなっていないので、今後の定期的な取り組みで深められることを期待したい。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議の開催検討を行っているが、まだ開催されていないので、今後の定期的な有意義な開催を期待したい。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の訪問時には、利用者の日常の様子を伝える他、気軽に相談や意見、苦情を言えるような雰囲気づくりに努めている。毎月ホーム便りを送付したり、連絡を密接に行うようにしたり努力している。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域に根付くホームづくりに取り組んでいる。日常生活の中で、近隣住民とは挨拶を交わしたりしているが、更に深めていくように考えているので、今後の取り組みに期待したい。</p> |

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|---|---|------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域密着型サービスの特性を理解し、ホームの理念として、地域に必要とされるホームづくりを掲げている。 | ○ | 開設2年目を迎え、理念の具体化、具現化していくことへの取り組みについても期待したい。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員会議の際に理念について話し合うとともに、地域に根付いたホームづくりにするための話し合いを行っている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 散歩時等の日常生活の中での近隣住民との関わりを大切に考え、声掛けや立ち寄られるような関係となってきたが、ホームから意図的に地域に向けての具体的な関わりとしては十分でない。 | ○ | ホーム自身でも地域との関わりを大切に考えており、今後自治会や地域行事への参加等を考えているので、今後の取り組みに期待したい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 今回が初めての外部評価実施であり、職員全員で取り組んだが、その具体的な改善や更なる取り組みとしては今後の課題となっている。 | ○ | 評価に関わる話し合いを定期的にもち、この評価結果を効果的なものとされるように期待したい。 |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議が開催されていない。その必要性和取り組みに対しては理解している。 | ○ | 運営推進会議を定期的開催し、ホームの運営と利用者へのサービス向上に向けて活用されるように望みたい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|---|------|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市職員の見学等を受入れ、その折には相談やサービス提供の向上に向けた話し合いをしているが、定期的に相談する機会を設ける等までには至っていない。 | ○ | 保険者である市町担当職員を交えて、利用者のケース検討やホーム運営の状況等を定期的に伝える機会を設けて欲しい。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 開設以降、毎月「すきっぷだより」を発行して、利用者の暮らしぶりを伝えている。家族の訪問の際にも、金銭管理状況や健康状態等を詳細に説明している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の訪問時は何でも相談や意見、苦情が言えるような雰囲気づくりに努めており、それらがあつた場合には速やかに対応するような仕組みが確立している。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の移動や離職による利用者への弊害について理解をしており、出来る限りそれが起きないように努力している。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員の質の向上は不可欠なものとして認識しているが、開設以降の勤務事情等で内部研修の実施や外部研修への受講等が十分に行われていない。 | ○ | 研修の必要性は認識しているので、内部研修を定期的に行って欲しい。また、外部研修への計画的に受講されるように期待したい。 |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | GH連絡会には加入し、情報を得るようにしているが、地域内のサービス事業所との交流や相互学習会等の開催等にまでは至っていない。 | ○ | 加入している連絡会等を活用し、近隣地域のホーム等との意見交換やケース検討等が行われるように働きかけられることを期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用予定者や家族にホーム生活に慣れることができるように体験利用期間を設けている。実際にサービス提供を行い、少しずつサービス提供を行うようにしている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者一人ひとりのこだわり・不安・喜びを理解し、職員は出来る限り利用者とともに過ごすように配慮している。「利用者は人生の先輩であるという考えを」ホーム全体で大切に、職員もそれを認識している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日常生活の中で、利用者の思いや希望、意向を把握し、それを介護計画に反映させるように努めている。また、会話や表情からも把握するとともに、家族からも情報を得るようにしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者の介護計画について、毎月の職員会議で内容の理解と共有に努めている。また、日々の記録や利用者、家族からの意見、要望などを伝達ノートを記録し、その内容について職員全員が共有できるようにしている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 各種チェック表を作成し、3か月ごとの確認、アセスメントを実施、6ヶ月ごとの計画見直しを効果測定、評価を行い、見直しを行っている。また、利用者の状況の変化にも随時対応し、見直しができるようにしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者の状況や意向に応じて、柔軟なサービス提供を行うように努めているが、ホームとしての多機能性を活かした取り組みにまでは至っていない。 | ○ | 利用者や家族の意向を把握しているので、ホーム運営の柔軟性を活かし、介護保険に適用しない(自己負担とする)サービス実施等にも取り組むように検討して欲しい。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ホーム提携医による往診を利用者全員が2週間に1度往診を受けている。訪問診療連絡表、さらに介護記録、業務日誌に記載し、利用者の状況確認を行っている。利用者がかかりつけ医に受診する場合は、家族が連れて行く仕組みになっている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合を想定し、個々のケースを検討しているが、ホームとしてのターミナルケアに対しての具体的な方針策定にまでは至っていない。 | ○ | ターミナルケアについては難しい面もあるが、ホームとしてどのような方針で取り組んでいくかを検討していくことを期待したい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者の尊厳やプライバシーを侵すことがないように、月1回の職員会議の折に確認している。個人情報の取扱いについても確認し、適切に取り扱っている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの体調や健康管理にも留意しながら、意向や希望を踏まえてその人らしい生活が送れるように支援にあたっている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|--|------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備や片付けを職員も利用者とともにやり、食事の際にも一緒にテーブルについて楽しい時間が過ごせるように配慮している。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者の希望で毎日入浴できるように配慮している。入浴時間についても制限を設けず、一人ひとりの要望に沿うようにしている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ホーム全体の流れの中に利用者が自然に関わり、役割分担がされている。また、一人ひとりに応じた楽しみごとや気晴らしの活動支援が行われている。 | ○ | 今後も利用者の希望に沿った支援が継続され、深められるような取り組みに期待したい。 |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日常的に散歩に出掛ける等、積極的に外出できるように支援している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関にはチャイムを設置をしているが、施錠はせず利用者の行動は見守るようにしている。玄関をいつも開放し、利用者と地域住民が接することで、日常的に立ち寄られるホームになるように取り組んでいる。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 訓練は定期的に実施している。近隣住民にも協力を仰げるように依頼をしている。 | ○ | 今後もあらゆる状況を想定し、近隣住民にも協力が仰げるように働きかけ、訓練を積み重ねられるように期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|---------------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 職員は、利用者とともに食事を摂り、一人ひとりの摂取状況も確認している。栄養のバランスにも留意しながら、利用者の嗜好や好みに対応できるように配慮している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 開放的なホームであり、共有空間には、家庭的で季節感を感じるように装飾したり、物品類を揃えたりしている。利用者が居心地良く過ごせるような共有空間づくりに配慮している。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者ごと居心地良く過ごせるように、使い慣れた家具や装飾品を持ち込み、仏壇や写真を飾るなどして個性ある居室となっている。 | ○ | 入居者の仏壇に供える食事等もホームで用意する等、柔軟な支援が行われている。 |